

# 芸術文化創造センター管理運営基本計画（案）に対するパブリックコメント募集結果

## 1. パブリックコメント募集概要

### 【募集期間】

平成25年1月15日～平成25年2月14日

### 【募集方法】

意見記入用紙の提出（郵送、FAX、窓口）、電子メール、市ホームページ上の意見入力フォーム

### 【周知方法】

窓口での配布（文化政策課、タウンセンター、支所・連絡所、小田原市民会館等）、市ホームページ、市広報紙

## 2. パブリックコメント集計結果

【提出者数】 71人

【意見等件数】 344件

### 【提出者内訳】

【住所】 市内 54人（川東地区 13人、川西地区 31人、不明 10人）、市外 9人、不明 8人

【年齢】 20代 4人、30代 3人、40代 9人、50代 10人、60代 9人、70代 9人、80代 2人、不明 25人

【性別】 男性 33人、女性 17人、不明 21人

【提出方法】 郵送 5人、FAX 10人、電子メール 16人、意見入力フォーム 17人、窓口 23人

### 【意見件数一覧】

芸術文化創造センター管理運営基本計画の内容について

1. 管理運営基本計画について	
(1) 管理運営基本計画の位置付け	0件
(2) 上位計画等	1件
(3) 管理運営基本計画における基本的な考え方	1件
芸術文化創造の拠点	8件
市民とともにあるまちづくりの拠点	7件
誰にでもやさしい施設	6件
2. 事業	
(1) 事業の考え方	13件
(2) 実施する事業の方向性	42件
(3) 中長期事業計画	5件
(4) プレ事業及び開館記念事業	6件
(5) 広報	11件
(6) 評価	7件

3. 運営	
(1) 施設運営の考え方	22 件
(2) 運営組織の考え方	17 件
(3) 利用者サービス	2 件
(4) リスクマネジメント	12 件
4. 市民参加	
(1) 市民参加の考え方	6 件
(2) 市民参加の活動内容	14 件
(3) 市民参加組織のあり方	3 件
(4) 市民参加を促す取組	4 件
5. 収支	
(1) 収支の考え方	9 件
(2) 収入	9 件
(3) 支出	4 件
6. その他	
(1) 開館準備業務推進体制	3 件
(2) 整備スケジュール	5 件
(3) 施設完成後の準備期間における留意事項	0 件
芸術文化創造センター管理運営基本計画全般について	36 件

その他

文化政策、その他市の施策に関する事など	4 件
芸術文化創造センター整備全般について	18 件
市民ホール管理運営計画市民委員会及び専門委員会について	15 件
設計・設備・備品等について	51 件
広報・周知について	3 件

3. 意見等への対応の結果

A 意見の趣旨がすでに計画に反映されているもの（盛込済）	31 件
B 意見を踏まえ、計画に反映したもの（反映）	17 件
C 今後の整備過程において検討するもの（検討）	90 件
D 今後の検討のために参考とするもの（参考）	196 件
E 意見の趣旨に応えることが困難なもの又は計画に反映しないもの（困難）	6 件
F その他質問など（その他）	4 件
合 計	344 件

## パブリックコメント意見及び市の考え方

### 芸術文化創造センター管理運営基本計画の内容について

#### 1. 管理運営基本計画について

##### (1) 管理運営基本計画の位置付け

(意見なし)

##### (2) 上位計画等

No.	関連ページ	意見	市の考え方	
1	2~3	上位計画との関係が掲載されており、分かりやすかった。	D:参考	・管理運営基本計画(案)が実現できるよう、着実に進めていきます。

##### (3) 管理運営基本計画における基本的な考え方

No.	関連ページ	意見	市の考え方	
2	4	芸術文化創造センターは基本計画のP4(3)にあるような考え方に沿った施設になって欲しいです。	A:盛込済	・管理運営基本計画(案)が実現できるよう、着実に進めていきます。

### 芸術文化創造の拠点

No.	関連ページ	意見	市の考え方		
3	4	名称に関しては、必ず一般公募をお願い致したく。この呼び名(略して芸文創)を公にした事で、市民はもうこの名前で決定なのかと勘違いしてしまいます。(というかまだ誰もホールの事なんて一部の市民 私も含めたここを使うつもりのある人達のこと。しか興味がないですから)広く周知しもっと多くの市民に知ってもらうために名称の一般公募をぜひ。それが今後の運営にも大きく影響すると考えます。	C:検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単なる小田原市民会館の建て替えではなく、芸術文化創造の拠点となる施設という方針を明確に打ち出すため、呼称については、施設の目指す方向性にふさわしい「芸術文化創造センター」とします。</li> <li>・名称や愛称は、今後、完成までの間に、公募の有無も含めて、市民の皆様に親しんでいただけるものを検討していきます。</li> </ul>	
4	4	芸術文化創造センター(呼称)に決まった様に思われるお知らせです。もちろんホールは芸術関係に使用される事が多いとは思われますが、広く講演会や発表会又企業の報告会等多岐にわたると思います。若い世代から高齢の方々にも分かり易い名称(呼称)にして欲しいと思います。例えば「市民文化ホール」「城下町文化ホール」「市民ふれあいホール」とか、市民に親しみやすい名称(呼称)をお願いします。	C:検討		
5	4	いかにも名前が長いので、「けやき」のような愛称をつけて頂きたい。	C:検討		
6	4	名称について、芸術文化創造センターは如何にも長過ぎるのではないのでしょうか。いろいろな思いを盛り込もうと云う気持ちは解りますが、クドイように思う。	C:検討		
7	4	名前が堅い...	C:検討		
8	4	芸術鑑賞を愛する一市民として、芸術文化創造という発想に賛同致します。	A:盛込済		
					・管理運営基本計画(案)が実現できるよう、着実に進めていきます。

9	4	「文化による社会開発を行う」の表記がわかりにくい。基本的な考え方を示す部分であるので、注釈なくわかりやすい表現にすべき。	D:参考	・できる限り分かりやすい用語での表記に努めていますが、市民委員会及び専門委員会での議論や発言について、その意図を適切に表現するためにカタカナ表記や専門的な用語を使用している箇所があります。
10	4	芸術文化創造の拠点だけでなく、文化全般の拠点となることを期待している。	D:参考	・ご意見として、参考にさせていただきます。

### 市民とともにあるまちづくりの拠点

No.	関連ページ	意見	市の考え方	
11	4	「市民とともにあるまちづくりの拠点」という目標は良い。しかしながら「地域に密着し貢献」するためには相当の労力が必要である。真の意味で市民とともにある為に、腰掛け的態度ではない運営をして頂くことを望む。	A:盛込済	・管理運営基本計画（案）が実現できるよう、着実に進めていきます。
12	4	小田原にも文化でまちおこしができる施設が必要です。高円寺のようになって欲しいです。	D:参考	
13	4	市民や近隣市町の住民が気軽に集え、また、参加できるような事業（イベントなど）がたくさん開催され、若い人から高齢者の活力が生み出されると良い。	A:盛込済	
14	4	芸術文化活動がまちに広がっていったり、小田原駅・城周辺の取り組みとの連携についても今後検討してはいいかがでしょうか。	C:検討	・市内外の様々な機関等と連携していくこととしていますが、詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
15	4	芸術文化創造センターは、中心市街地の活性化も目的の一つであると聞いたことがある。小田原市が3大事業としている、地下街やお城通りの公共公益施設との連携を図っていくべきであり、そうした記述もほしい。	C:検討	
16	4	「地域の文化施設」は、連合自治会単位など各地域にあるもののイメージがある。	D:参考	・市民委員会及び専門委員会での議論や発言について、その意図を適切に表現する言葉であると考えております。
17	4	『まちの一員』とあるが、地域の文化施設としての文章に、このような言い回しをされている訳を教えてください。	D:参考	・地域に溶け込み、市民、周辺商店街、自治会等と一体となって活動していくあり方を表現する言葉であると考えております。

### 誰にでもやさしい施設

No.	関連ページ	意見	市の考え方	
18	4	「誰にでもやさしい施設」に記載されているように、一部の団体や分野の方が利用しやすい施設運営ではなく、誰にでも利用しやすい施設運用を望みます。	A:盛込済	・管理運営基本計画（案）が実現できるよう、着実に進めていきます。
19	4	障がい者が利用するためのハード整備が充実しているが、障がいのある方々が参加できるようなイベントを一定の周期でおこなうなど、ソフト面でのバリアフリーも進んだ施設となれば、魅力がもっと増えると思う。	A:盛込済	

20	4	視覚障害者の運営計画を盛りこんでほしい。	A:盛込済	・市民ホール基本計画において、誰もが快適で安全に施設を利用できるよう、ユニバーサルデザインに十分に配慮した計画とすることとしています。
21	4	具体的に点字ブロック等バリアフリーも盛りこんでほしい。計画案を見ると視覚障害者の事が一言も書いてないので点字ブロック、音声案内があるといいです。基本計画書に盛りこんで下さい。あとはすばらしいので意見がありません。	C:検討	・管理運営基本計画（案）では、運営面において、施設利用上の障壁の内容を問わず、バリアフリー全般に配慮することとしています。
22	4	バリアフリーに関する記述が少なすぎるように感じます。4ページ下段のように書いてあっても、当たり前の一応「書いておいた」という印象が拭いきれません。	A:盛込済	・詳細については、今後の基本設計及び実施設計において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
23	4	新しい施設のあり方を示す計画案として、もう少し「ここが違う！」という何かを明確に表現していただく方が、施設への期待が高まります。少なくとも施設の設備や運営上の都合で市民がそこへ行くのを諦めなければならないことだけは絶対はない、という確信が持てるような「宣言」を基本計画の段階で示していただきたいと感じます。	D:参考	・ご意見として、参考にさせていただきます。

## 2. 事業

### (1) 事業の考え方

No.	関連ページ	意見		市の考え方
24	5	一流の演奏家の招聘といったハイカルチャーの提供も大事ですが、郷土芸能の公演や身近な人が舞台に立つこと、サブカルチャーの導入なども、もともと芸術への関心が薄い人に身近に楽しんでもらうためには必要で、そのような前提があるのであればこの計画におおいに賛成します。	A:盛込済	・管理運営基本計画（案）が実現できるよう、着実に進めていきます。
25	5	【誰でも参加でき、楽しめる】と【次世代をになう市民を育む】がたくさんあってほしいです。	A:盛込済	・詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
26	5ほか	市民のニーズという文言が散見されますが、事業（公演や展示）や市民参加に関する市民の意見を収集あるいは反映する仕組みについては特に言及されていません。	C:検討	
27	5	誰でも参加でき、楽しめる事業 計画案としては良いと思うが、市民会館の催し物案内を閲覧していると、低俗的なおかつ遊戯的と思われる、また、文化団体の開催もマンネリ化しているような行事が見うけられるので、一定の基準を定め選択を行ってゆく必要があるのでは。文化都市小田原として質の向上を図るべきではないか。	D:参考	
28	5	未来にむかって発信する芸術文化創造センターであってほしい。	D:参考	
29	5	人を魅了し魂をゆさぶる発信力がなければならない。	D:参考	
30	5	広域での連携について センターは、今後、小田原だけでなく県西地域で、それなりの位置を占めて機能していくものと思われませんが、近接地域での諸活動との連携について、あまり強く記述がないと思われま。市内を固めるとともに、隣接地域との文化創造に関しての連携についても今後具体的に計画行動して頂きたいと考えます。	C:検討	・市内外の様々な機関等と連携していくこととしていますが、詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
31	5	箱根ジオパーク関連施設とのネットワークを持たせ集客力のある魅力を発信すること。	D:参考	

32	5	「近隣地区」西湘地区は、西湘音楽フェスティバルのように、緩い集合体として機能している面がある。また箱根ジオパークでの結びつきをも一つの軸として、小田原を中心として、連携することにより、芸術文化創造の文化圏を構築する。これにより、小田原だけではなかなか解決できない、東京・横浜等を意識した一つの位置づけにもつながる。(段階を踏んで西湘、箱根ジオパーク地区の芸術文化創造の中心に。)	D:参考	同上
33	5	基本計画によると、舞台系に偏った施設計画のようにも見える。その中で「展示系機能を活かした事業」の展開は可能なのか。	A:盛込済	・芸術文化創造センターは一つの機能に特化するものではなく、芸術文化創造の拠点として整備するものです。
34	5	芸術文化創造センターを名乗るのであれば、特定の分野に偏らない事業実施をお願いしたい。	A:盛込済	・詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
35	5	単なる舞台芸術だけでなく総合的芸術に光をあてること。	A:盛込済	
36	5	(展示系機能を活かした事業)展示機能は公演系機能と同じ水準で述べられるべきであり、唐突な感じがします。ここでいうなら、展示系機能と公演系機能の共作(俗にいうコラボレーション)とでもした方がよいのではないのでしょうか。このままでは、劇場・音楽堂にギャラリーも付設するから利用するという消極的な意味合いになります。	B:反映	・ご意見の趣旨を踏まえ、管理運営基本計画(案)を修正しました。

## (2) 実施する事業の方向性

No.	関連ページ	意見	市の考え方	
37	5~9	「7つの基本方針と事業」は、これらが実行されれば素晴らしいと思います。	A:盛込済	・管理運営基本計画(案)が実現できるよう、着実に進めていきます。
38	5~9	7つの事業に含まれているものは、Workshop的な、市民自ら作り出す活動が多くあり、そこには規模を求めるものではなく質を求めるものである。	D:参考	
39	5~9	ホールでのパフォーマンス鑑賞はあくまでその中の一つの位置づけであり、芸術文化創造の名前の通り、様々なイベントの会場として機能する。	A:盛込済	
40	5~9	ワークショップなどは趣味の域ではなく「子どもたちに本物を」をベースに展開していければよいですね。	A:盛込済	
41	5~9	小田原市は市の美術館がなく、そういう部分(美術・工芸・絵画)での接触が子どもたちにも身近になればよいと思います。	A:盛込済	
42	5~9	地域活性化や住民の生きがい創出のための、市民参加事業と小田原をブランド化するような質の高い自主事業が両立するような運営をバランスよく行えるようになると思う。	D:参考	
43	5~9	(2)に記載されている各種事業の実現は小田原に住んでいる人だけでなく、近隣市町村に住む私たちもその実現に期待しています。	D:参考	
44	5~9	これだけの事業を実現するには、行政内だけでも担当部署以外にも多くの所管との調整が必要だと思えます。是非他の所管とも協力して進めてください。	D:参考	

45	5~9	7種類の事業が示されることで「あれもやりたい、これもやりたい」というようにも読めるのですが、かけられる資金やマンパワーには限りがあります。その中で効果的に文化芸術を振興するためには、厳選してアートイベントを推進していくことも必要ではないでしょうか。	C:検討	・詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
46	5~9	幅広い年代から親しまれる施設となっていくよう、様々な分野からのゲネプロなども積極的に引っぱってきてもらえると、話題性や魅力がふくらむのではないのでしょうか。	D:参考	
47	5~9	要請があればアウトリーチに協力する団体、有無の確認を提案します。	D:参考	
48	5~9	アウトリーチの存在を、「幼・小・中校」の施設に広報した時、アウトリーチを必要とするかの有無調査。要は、受け入れる側の意識改革もこの際確認しておく必要を提案します。	D:参考	
49	5~9	市民会館では呼べなかったオペラ、ミュージカルなど、いいものを（できれば安く）たくさん見たいです。	D:参考	
50	5~9	音楽・演劇などはどういった演目をやるのか、それによっては遠方からも来館者が見込まれると思います。	C:検討	
51	5~9	若者が盛り上がるようなイベントの開催に期待	D:参考	
52	5~9	子供がいるので、一緒に楽しめる教室があるといいなあと思ってます。	D:参考	
53	5~9	昔やっていた薪能も、また見たいです。	D:参考	
54	5~9	小田原市には国の重要無形民俗文化財に指定されている『相模人形芝居 下中座』がある。全国的にも国指定の重要無形民俗文化財を抱える市は、稀な存在である。有形文化財である小田原城ともども有効に活用し、小田原市の元気のもととしてほしいと願っている。	D:参考	
55	5~9	お城の近くなので、歴史のイベントもいいと思います。（小田原城でのコスプレのイベントが若者に人気という新聞記事を見ました。）	D:参考	
56	5~9	娘がよさこいをやっているのので、ここのホールで踊らせてあげたいです。	D:参考	
57	5~9	井上三鋼氏など小田原ゆかりの作品など	D:参考	
58	5~9	小田原市を取り巻く環境は、以前は東京・横浜まで行かないと、チャンスがなかった環境が今では交通の便が良くなり、以前の様に半日以上もかけて行く必要がなく、その気になれば交通費とその時間に不満を感じなくなってきた環境になってきました。東京・横浜での出し物を小田原で手軽に！の発想には十分な検討を要することを提案します。	C:検討	
59	5~9	「交通の利便性」よいパフォーマンスに触れたいという思いは誰もが持っている。しかし、少し無理をして東京、横浜等に行けば、それが得られることを踏まえたあり方を考えなければならない。一方、東京、横浜等に近く、箱根も背景に控えている点は利点として活かすべきである。（交通の利便性を踏まえた検討を。）	C:検討	
60	5~9	先生方の施設での催しを小田原でも。	D:参考	
61	5~9	現在の市民文化は多岐にわたりそれぞれの分野での活動がなされています。しかし、一般市民は、文化祭に足を運ぶ人々は限られているのが現状です。	D:参考	

62	5~9	音響や照明を充実させて臨場感があるライブ等を見たい	D:参考	・事業の実施に必要な設備及び備品の詳細については、今後の基本設計及び実施設計、備品計画において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
63	5~9	小田原地区では能楽や狂言を定期的に公演していただける場所がなく、現在1ヶ月に一度程度横浜能楽堂に出かけております。能・狂言が上演できる構造（具体的には背景の鏡板の様な簡単なもので良いのでしょうか）にさせていただき、定期的な能・狂言の上演を希望いたします。	D:参考	
64	5~9	行政がもめている大きなor質の高い展示はどのようなものが把握できない。神奈川県美術展や神奈川県華道展示のような巡回展はどのようにみるのか知りたいですね。	C:検討	・市内外の様々な機関等と連携していくこととありますが、詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
65	5~9	民間美術館との展示品交流も行う。	C:検討	
66	5~9	小田原市内で活動する市民団体も様々な分野で活動しているので、事業を行う際にはアンテナを高く持って、市民団体の力も使って欲しいと思います。	C:検討	
67	6	育成事業 アーティストというカタカナを使用する理由は何でしょうか。芸術家で十分だと思います。また、職能（おそらくアートマネジメントや舞台技術を指す）の育成は、芸術家の育成と項を分けた方がよいのではないのでしょうか。この項の表現がやや分かり難くなっています。	D:参考	・できる限り分かりやすい用語での表記に努めていますが、市民委員会及び専門委員会での議論や発言について、その意図を適切に表現するためにカタカナ表記や専門的な用語を使用している箇所があります。
68	6	鑑賞事業 ここでいう質の高い作品の創造主体は職業芸術家でしょうか市民でしょうか。職業芸術家の育成は前項に、市民による創造活動については 参加に述べられています。	D:参考	・芸術文化創造センターが主体となって実施するものです。
69	5~9	基本的な「考え方」と「方針」の違いは何になるのでしょうか。うまく結び付けられません。	B:反映	・ご意見の趣旨を踏まえ、管理運営基本計画（案）を修正しました。
70	6	育成事業 支援者とありますが、文中では理解者に変わっています。いずれをいおうとしたのか分かりませんが、統一した方がよいと思います。	B:反映	
71	6	鑑賞事業 演劇、音楽のみ引き合いにだし、展示系の鑑賞には触れていません。例示するならともに記述してください。独自企画の公演や展示ではないでしょうか。	B:反映	
72	7	参加事業 ミュージカルとオペラは具体的に例示されていますが美術系の例はなぜ記述されていないのでしょうか。	B:反映	
73	8	施設提供事業 利用に役立つ情報と空き状況などとし、前者は漠然とし後者は単純な例でしかありません。想定される方法を例示していただけたらと思います。	B:反映	
74	8	施設提供事業 情報発信事業 『施設利用に役立つ情報や空き状況など』などがありますが、施設を利用する個人や団体が、どのような施設があり、自分達が利用したいと思う設備が整っているのかどうか確認できる意味でも、施設そのものの基本情報も発信するという一文が含まれていた方が、計画を読まれる方は安心するのではないかと思います。	B:反映	
75	9	9ページの図の、グラフの太さの割合の根拠がよくわかりません。統計によるものなのか、それとも感覚的なものなのでしょう。イベントの内容も、他と比べてここだけが具体的に書かれており、芸術文化創造センターで行っていくアートイベントのイメージを固定してしまうものと思われるので、思い切って計画からは削除してはいかがでしょうか。	B:反映	



76	9	【個別の事業に含まれる要素の例】割合の根拠が不明であり、例えば、Aは「つたえる」がもっと大きくて良く、又、3つの中でCが最も優れたように見えるが、プロを呼ぶことも重要であると考える。この点については再考を望む。	B:反映	同上
77	9	図【個別の事業に含まれる要素の例】では、事業例および個別例を展示と公演および協働例を等しくあげて(本文にあるように)からの項にもとづき目的と内容別に整理してあると、7つの要素との関係が分かりやすくなると思います。また、は4段階(1・2・3・4倍)となっていますが、大きさは意味をもちません。関連の強さなら量的な表現より記号を使った方がよいと考えます。また、図だけが示されていますが説明の記述が必要と思います。	B:反映	
78	5~9	将来、この広場を大学駅伝の中継地に? 直角に曲がるコース現状2か所、これをホール広場に変更すると、直角に曲がるコースは4か所となり、現状箱根方面の片側車線交通規制を、さらに東京・小田原方面を含む、国道上下線全線遮断の交通規制となり、広場でタスキ渡し後、国道へ戻る時も同様に「国道上下線全線遮断」を必要とする。提案者は、この事を考えての発言か甚だ疑問。	D:参考	・ご意見として、参考にさせていただきます。

### (3) 中長期事業計画

No.	関連ページ	意見	市の考え方	
79	9~11	小田原に新しいホールができ、これからだんだんと文化が広がっていくのが楽しみです。	D:参考	・管理運営基本計画(案)が実現できるよう、着実に進めていきます。
80	9~11	方向性でしめした各項の時間的位置づけに関する説明が必要と考えます。	D:参考	・事業実施に当たっては、中長期的な視野を持ち、開館前から段階的かつ戦略的に展開していく必要があり、中長期事業計画は概ね5年ごとに新たな目標の設定を行うこととしています。
81	9~11	標題は中長期となっていますが、本文では開館前から長期に至るものとなっています。	D:参考	
82	11	P11イメージ図 わかりにくい。	D:参考	・市民ホール基本計画における中長期的な事業展開のイメージ図を基に、専門委員会での議論を踏まえて作成したものです。
83	9~11	「開館前」では、文化活動を行っている市民やその他の団体とありますが、「初期」では、文化団体と団体が限定されておりますので、例えば、文化団体に統一するなどされた方が分かりやすいのではないかと思いました。(もちろん、示す団体の意味合いが異なるのでしたら全く問題ないかと思います。)	B:反映	・ご意見の趣旨を踏まえ、管理運営基本計画(案)を修正しました。

### (4) プレ事業及び開館記念事業

No.	関連ページ	意見	市の考え方	
84	11~13	開館に当たってはプレ事業の役割は大きいと思います。	A:盛込済	・管理運営基本計画(案)が実現できるよう、着実に進めていきます。

85	11~13	現在小田原には数多くの行事があり、又市民会館でも多くの催しが行われている。その中でプレ事業を行っても受け取り手（客）には何がプレ事業なのか分からず効果は薄いと思われる。プレ事業の枠組みの明確化が必要である。	C:検討	・詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
86	11~13	小田原には相洋高校の和太鼓部や下中座の人形芝居といった、レベルの高いものがたくさんあります。市民のための施設なので、開館記念公演には市民が舞台上がれるようにしてください。	D:参考	
87	11~13	新しいホール完成の折には、委員会に参加した皆様が集い、会場の中を見学しながら「ここは、皆様のこんな意見を参考にしてこんな設備に造りました」とか「この空間は、皆様のこんな意見を聞き、実現すればいいなあと、頭に思い浮かべながら造られました」とか、（パフォーマンスでも良いですから）市の方々が一言添えてくださると、自分たちも一緒に生み出した思いがして、ホールを愛する気持ちが強くなるように思います。	D:参考	
88	11~13	センターでの催事や利用者層の可能性を探る試みとして、既存施設の使用料免除を条件に、自由な発想によるイベント開催等の企画提案を募集したらいかがでしょうか。	D:参考	
89	11~13	オープンイベントは関係者だけでなく市民も入れるようにしてください。期待しています！！	D:参考	

(5) 広報

No.	関連ページ	意見		市の考え方
90	13~14	芸術文化創造の情報は共有されることにより、幅広く有効に活用される。小田原に近隣地区の情報も示され、同様に近隣地区にも小田原の情報が提示される。	D:参考	・管理運営基本計画（案）が実現できるよう、着実に進めていきます。
91	13~14	芸術文化創造の情報の集約の場に。	C:検討	・詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
92	13~14	イベント等の日程・詳細が随時わかるようにスマホ対応にしてほしい	D:参考	
93	13~14	インターネットでも取れる情報でも、高齢者や相互比較の為の紙媒体も必要。	D:参考	
94	13~14	公共施設に限らず、民間施設のイベントも情報提供できる場を設定することにより、西湘地区と箱根ジオパーク地区の芸術文化創造情報統括センターの位置づけで機能する。	D:参考	
95	13~14	民間施設のPR用に有償(100円/月程度)のパンフレットボックスの用意も1案。	D:参考	・「芸術文化創造センターの活動」に含めるものとして考えております。
96	13	センターの認知度、イメージ形成、文化活動情報、の3点があげられていますが、芸術文化創造拠点としての啓蒙と（少なくとも）センターにおける行催事の情報提供を加えた方がよいのではないのでしょうか。	D:参考	
97	13	利用者・支援者の拡大と表現されていますが、数の拡大だけでなく質の向上を企図することも明確に記述するべきと思います。	D:参考	・プレ事業や育成事業等により質の向上を図り、広報により拡大していくものと考えております。
98	13	「インターネットを活用」といいつつ事例の表に「インターネット」の表記はない。「電子媒体」とする、または表中の「ウェブサイト」をインターネットにする、など。	B:反映	・ご意見の趣旨を踏まえ、管理運営基本計画（案）を修正しました。

99	13～14	「紙媒体も使用」「次のような媒体を組み合わせる」「その他の媒体として」...重複するイメージが強い。	D:参考	・ご意見として、参考にさせていただきます。
100	13	『芸術文化創造センターの広報だけでなく、周辺地域も含めたまちづくりにつながるよう展開していきます。』（抜粋）とありますが、個人的に『周辺地域も含めたまちづくりにつながるよう広報活動を展開していきます。』というように、何を展開していくのかあると分かりやすいのかなと思いました。（ただ、広報という言葉が二重に出てきてしまうため、難しいところではあるかと思いますが...）	D:参考	

### (6) 評価

No.	関連ページ	意見		市の考え方
101	14～15	評価は、事業と運営および市民参加のすべてに関わるもので、別章として「5. 評価」を立てた方がよいと思います。	C:検討	・詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
102	14～15	営利的視点に偏らない、地域貢献度が考慮される仕組みとして頂きたい。	D:参考	
103	14～15	評価には数値指標（必ずしも絶対値でなくとも相対値でも構わないと思います）が必要であり、センター設置前の現状値、計画における目標値、設置後の単年あるいは複数年後の結果を一貫して評価できる項目と数値を予め用意しておく必要があると思います。そのため、事業では、冒頭においてあげられている7つの分野および運営について、細目化し目標値を調査や討議によって、次年度内に設定しておくことを提案します。プレ事業において評価方法の吟味をすることも考えられます。	D:参考	
104	14～15	評価の項にニーズすなわち主体者である市民の声を定期・不定期に収集する仕組みを述べた項を加えていただけたらと思います。	D:参考	
105	14	外部有識者と市民は分け、可能性でなく明確に評価者とするべきだと思います。	D:参考	
106	15	『利用者へのサービス、施設のホスピタリティ、施設の維持管理等について評価します。』とありますが、P8「施設提供事業」で「施設運営においては、柔軟性とホスピタリティに配慮して運営していきます。」（抜粋）とあるので、どのように柔軟に対応することができたのか柔軟性に対する評価もあった方がいいのではないかと思います。	D:参考	
107	14～15	目的より方法の方が項目が粗くなっていますので、を簡潔にしに各項を加え、方法論を精緻にしたら如何かと思います。	C:検討	

## 3. 運営

### (1) 施設運営の考え方

No.	関連ページ	意見		市の考え方
108	16～17	小田原のいろいろな活動をしている人が使いやすい施設になるといいと思います。	A:盛込済	・管理運営基本計画（案）が実現できるよう、着実に進めていきます。

109	16	休館日なしの設定は利用しやすい。	D:参考	・詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
110	16	個人的には休館日があってよいと考えています。夏季：冷房、冬季：暖房...いずれ要望が出てくるでしょう。この維持費！誰が負担するか。この事をもっと考え検証すべきと考えます。注：休館日に要求があれば開館、原則休館を提案します。	D:参考	
111	16	利用申請手続の簡略化をすべきである。	D:参考	
112	16	ネット予約ができるようにしてほしい	D:参考	
113	16	利用者の利便性を図るため、誰もが、パソコンや携帯などから、予約状況が見ることができ、また予約や決済ができるシステムを導入して欲しい。	D:参考	
114	16~17	ホールについては、市や学校関係、文化団体等の先行予約が多く、その為、他の方が利用できにくい状況にあります。幾日もホールをおさえるなど、リハから本番までの日数や先行予約、減免のあり方についても検討が望まれます。公平さに欠け、広く市民に芸術文化をとの理念もむなしく感じてしまいます。	D:参考	
115	16	利用者の決定方法は、例えば、市の文化施策に合致する分野の団体等と、販売目的の利用者として、予約の受付開始時期に差を設けてはいかがでしょうか。	D:参考	
116	16~17	計画案には料金体系までは触れてありませんが、利用者(市内の団体、外部の団体、営利団体等)の細かな設定が必要でしょう。	C:検討	
117	16~17	ロビーなども含め、占有利用する場合は使用料を取るべきである。	D:参考	
118	16~17	新ホールが低料金で使用出来ることが利用率を上げる必須の条件です。	D:参考	
119	16~17	(今の市民会館の問題点)減額・免除の団体が多い。	D:参考	
120	16~17	市民会館では、市役所などは使用料が免除のため、必要以上に会場を押さえている。	D:参考	
121	16~17	優先利用とあるが、特定の団体のみが優遇される制度には反対する。	D:参考	
122	16~17	施設の利用に当たっては、文化連盟加入者など一部の市民だけが優遇を受けるような、現在の市民会館の運営方法は改めるべきである。行政が密室で処理する減免制度は取らずに、支援が必要なものは毎年議会で審査して補助するなどの方法に改めるべきである。	D:参考	
123	16~17	減免基準の見なおしをすべきである。	C:検討	
124	16~17	学校や幼稚園等の利用の見直しをすべきである。	D:参考	
125	16~17	市の文化施策として特定の団体等の育成、支援が必要なのであれば、安易に使用料減免により行うのではなく、事業実施に向けた専門的な見地からの助言や継続的なフォローアップ等により行うべきと考えます。	D:参考	
126	16~17	地元の団体も大切だが市の文化団体や学校等の利用が多く、一般の利用が増えていかなく、プロの音等に触れる機会もなかなか増えないと思う	D:参考	
127	16~17	使用料や減免制度など、今後詰めていく事になると思うが、極力、公平性、透明性のあるものになることを望む。	D:参考	

128	16	年末年始を休館日としているが、主催事業に限らず、カウントダウンコンサートやニューイヤーコンサートなどが開催できるような余地（表記）を検討してもらいたい。	C:検討	・ご意見のように文章の修正はいたしません が、今後の管理運営実施計画等において十分考慮し、ご意見も踏まえながら検討していきます。
129	16～17	「スタジオ」リハスタジオをホールとして使用可能とすることで、多くの拡がりが見えてくる。	D:参考	・市民ホール基本計画において、公演、練習、リハーサル、展示などに利用できる室として大スタジオを計画することとしています。

(2) 運営組織の考え方

No.	関連ページ	意見		市の考え方
130	17～19	センターの運営は、民間的な自由な発想と公共施設としての役割を担保することのできる人材（コーディネーター）が重要。	D:参考	・詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
131	17～19	アートイベントには、企画者の主観を押し付けるもの、関係者だけが楽しんでいるものも多く見受けられます。運営母体にも触れられていましたが、「直営」では専門家ではない公務員にアートの企画ができるのかということにも疑問があります。企画や運営をするスタッフは、少なくとも専門の勉強をしてきた人か、相当の期間現場で実務に携わってきた人が相応しいと思います。	D:参考	
132	17～19	運営の中心になる組織と人選（精通したプロに任せるのが良い）	D:参考	
133	17～19	ホールのスタッフに役所の人間や委託業者は置かないで！キッチンと案内できるプロを！！！！	D:参考	
134	17～19	館長には市民の視点で地域に貢献できる人物の起用を望む。できれば小田原市民を起用するか、外部の人でも小田原に住んで頂きたい。	D:参考	
135	18	基本的な業務の例についても、この文書は計画書ですから例示でなく、以下のような業務が想定されるとして、必要な業務を確定的に表現してください。	C:検討	
136	19	運営母体は、直営と指定管理者の選択肢をあげていますが、市民参加を進めていくための運営母体のあり方を示しつつ、いずれかの方法をここで提案すべきと考えます。	C:検討	
137	19	指定管理者制度を導入したフラワーセンターの例を見ても、イベントや教室の開催が増え、新聞の折り込みチラシで案内など、サービス向上が実感できる。芸術文化創造センターも直営とするのではなく、指定管理者制度を導入し、民間企業が競争する環境をつくるべきである。	D:参考	
138	19	市民参加・知見蓄積の観点から直営および市民組織に賛意を表します。	D:参考	
139	19	運営母体のあり方は今後のセンター運営の最優先で検討すべきものと考えます。なぜならば指定管理者制度を導入すれば、これまで文化活動を行ってきた様々な市民と今後の人材育成に影響すると思われるからです。将来的に市民参加の枠を超えてスタッフとしての活動を希望される方が幾人が居られました。頭から指定管理者を阻害するつもりはありませんが、もし導入するならば早期に開館準備に携わる人材を市民レベルで育成すべきと考えます。指定管理者にすべての運営を委譲してしまえば、市民は如何様な組織と運営になるのか心配するでしょう。だからこの時期にこそ深く検討されることを望んでおります。	C:検討	

140	17~19	利用者サービスやリスクマネジメントおよび公演系施設設備の操作維持においては部分的な外部委託が適切かと思えます。	D:参考	同上
141	17	組織体制のイメージ図を見る限り今後の運営組織は様々なジャンルの市民以外の専門家のみに運営を委譲する印象があります。	C:検討	・専門家と市民とが車の両輪となって活動できるような組織づくりを行うこととしています。 ・詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
142	17	図の中で大きな部分を占めるのが専門家（専門的能力者）で、市民参加は外部のものとして簡単に矢印で結ばれており、運営組織のなかでどういう位置づけで役割を果たしていくかが不明です。	C:検討	・専門家と市民とが車の両輪となって活動できるような組織づくりを行うこととしています。 ・詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
143	17	イメージ図はイメージでなくて討論の結果を踏まえた計画を簡潔に示すものであると思えます。	D:参考	・市民委員会及び専門委員会での議論を踏まえ、イメージとして図示したものです。
144	17	行政が外部のチェック機能として表現されていますが、このプロジェクトは小田原市の文化政策そのものであり責任ある行政（市）は当事者です。	D:参考	・芸術文化創造センター整備は市の事業であり、芸術文化創造センターの基本理念や使命の実現度について、運営形態に関わらず、市は当事者としてチェック機能を果たすことを示しています。
145	17	図を構成する各職能についてもその役割と必要性を個々に説明する必要があると思えます。とくに芸術監督とクリエイターが点線で囲まれあいまいな存在になっています。	D:参考	・職能の説明については、「基本的な業務の例」として記載しています。 ・配置する場合の位置付けとして示したものであり、詳細については、今後の管理運営実施計画等において検討していきます。
146	17ほか	ファンドレイズとありますが、日本語の資金調達ではいけないのでしょうか。	B:反映	・管理運営基本計画（案）においては、事業広報や施設営業等を含む幅広い業務を指す言葉として使用しているため、用語注釈を修正しました。

### (3) 利用者サービス

No.	関連ページ	意見		市の考え方
147	19~20	親子連れへのサービスがあると行きやすくなります。（親子割引とか）	D:参考	・詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
148	19~20	レセプションistとして活動する上で、打ち合わせや更衣、事務作業等を行うために、一部屋の提供をお願いします。そこには、電話、Fax、Pc、プリンター、更衣ロッカー、事務机、打ち合わせ机、椅子、整理棚、保管庫等が備え付けられることが望ましい。	D:参考	・市民ホール基本計画において計画されている創造スタッフ室（積極的に市民参加活動を行っていこうとする市民又は団体の活動拠点となる室）の利用が想定されますが、運用の詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。

## (4) リスクマネジメント

No.	関連ページ	意見	市の考え方	
149	20	リスクマネジメント 緊急時対応ではいけないのでしょうか	E:困難	・日常の維持管理や訓練等にも言及しており、緊急時のみに限定するものではありません。
150	20～21	防災の備えを！（利用者だけでなく、周辺住民の避難受け入れ準備）（万が一の時に備えた防災機能を。）	A:盛込済	・市民ホール基本計画における施設計画の基本的な考え方の一つとして、十分な防災対策を行うこととしています。
151	20～21	観光で訪れた方々が当地でもし、震災等の災害に遭遇した時、この人達は「帰宅困難者」になります。今回の施設が災害に耐え、使用可能の場合は、「帰宅困難者」の方々の、一時避難施設としての使用を考慮すべきと考えます。	A:盛込済	・大規模災害の発生時には、一時的な避難施設として使用されることを想定しています。
152	20～21	非常時でも利用者を守れるよう、災害に強い設計として頂きたい。	C:検討	・詳細については、今後の管理運営実施計画、基本設計及び実施設計、備品計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
153	20～21	来るべき小田原大震災に備えた施設であること。	C:検討	
154	20～21	太陽光発電の設置...災害時対応。平素でもエコ対策として、国の助成活用？予算的に無理の場合は、将来の設置を考えた施工としておく。例：設置場所を想定し、引き込み線の設置等。後からの施工は費用がかさむため。	C:検討	
155	20～21	非常電源の設置場所は、普通地下設置が多いですが、予定地の海拔7メートルを考慮すると階上設置の検討を提案します。地下では災害時使用不可（浸水）になる危険が想定されるため。	C:検討	
156	20～21	以前雨水利用を提案しましたが、これはエコ対策もさることながら、非常時のトイレ対策です。災害時の水洗トイレは「水」がないと使用できません。そこで、地下等にあらかじめ「雨水利用」のタンク設置を提案致しました。もしこれが不可能なれば、幸い本施設は「濠」が近くにあります。この濠の水を災害時に活用できるように、給水管を設置し、施設内のタンクに供給可能な配慮をしておく事を提案します。	C:検討	
157	20～21	ある一定以上の津波が来ると、建設予定地は水没する。そこで、このセンターは下層階に駐車場を持つことにより、その利便性と津波対策とも機能するべく、下層階は高床式の様子に駐車場とする。	C:検討	
158	20～21	東日本大震災時のさまざまな建築物の天井落下を受け、まもなく国交省より天井の耐震対策の具体的な指針が発表される予定なので、留意して頂きたい。	D:参考	
159	20～21	最上階あるいは屋上に、防災備蓄品を常時配備しておく。	D:参考	
160	20～21	くれぐれも防犯（テロ）対策を考慮して頂きたい。	C:検討	・詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。

#### 4. 市民参加

##### (1) 市民参加の考え方

No.	関連ページ	意見	市の考え方	
161	22	本当に市民レベルでセンターの設備整備を行うのであれば、計画要点にあります、文化活動への関心・理解・自己実現・創意・知見・交流・活性化これらの言葉をぜひ実践実行しなければなりません。	A:盛込済	・管理運営基本計画(案)が実現できるよう、着実に進めていきます。
162	22	市民参加は必要なことと考えます。	A:盛込済	
163	22	もっと市民やボランティアを大切に考えてほしいです。これまでの市民の努力や好意や協力が無にならないことを祈っています。	D:参考	・ご意見として、参考にさせていただきます。
164	22	基本構想の7つの事業に従って整理し直すとは一貫性が保たれるのではないのでしょうか。	D:参考	
165	22	市民活動のアドバイザーは桧森先生に!	D:参考	
166	22	小田原市のHPに「市民の力で未来を拓く～」とあるように、「職員のレベルアップ」と共に私たち市民が保守的にならずに、新しいことに興味をもって受け入れ、関わる、そんなセンターになるとよいですね。	D:参考	・市民参加を推進していくためにも、皆様のご協力をお願いいたします。

##### (2) 市民参加の活動内容

No.	関連ページ	意見	市の考え方	
167	22~23	小田原市内には既存の芸術関係団体が多くあり、オープン時はその団体が引っ張るかたちで進めていく事業が数多くなると思いますが、新しい施設が出来れば、今まで芸術に興味が無かった市民を「コンサートを見に行こうかな」「市民ミュージカルに参加してみようかな」といった気持ちにさせられるチャンスなので、ぜひ、既存団体だけではなくそれ以外の市民にも目を向けた計画実行を行っていただきたいです。	A:盛込済	・管理運営基本計画(案)が実現できるよう、着実に進めていきます。
168	22~23	芸術施設のレベルを保つのであれば、安易にボランティアに頼るべきではない。ボランティアはあくまで補助的要員と考えるべき。	D:参考	・詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
169	22~23	かつて小田原にも実演芸術(音楽・演劇等)を鑑賞する組織がありましたが、いつの間にか消滅、現在は藤沢を拠点とする組織に市内の希望者が参加していると聞いておりますが、この組織での小田原公演の記憶がありません。聞いたところでは月2,000円会費で年3回程度の公演に参加できる組織と聞いております。	D:参考	
170	22~23	新しいホールでは、管理する指定管理者直属のレセプションистを採用されると思いますが、我々小田原文化サポーターの活動の場を残していただくようお願いしたい。	D:参考	
171	22~23	特定の市民組織が既得権益を持ち、新規参入者の阻害要因になることがないように、体制整備が必要と考えます。	D:参考	



172	23	運営への参加の欄には労力や技術を伴う支援活動が含まれており、市民参加が行政の下請けとなったり経費節約の手段となったりしないよう、有償無償についても言及しておく必要があると思います。	C:検討	同上
173	23	表中、他の項目に比べ「有償のボランティアとして活動することもあります。」だけ具体的に決定事項のように感じられる。	C:検討	
174	23	企画と運営は区別せず、それぞれ市民の意思や事情に従って参加できる方策も提示すべきと考えます。	C:検討	
175	22~23	公演系や展示系の事業運営に特有な市民参加の形態を整理して書き加えていただくよう提案します。	D:参考	
176	22~23	お手伝いできることはしたいと思いますし、またいろいろな企画を陰で支える側も担っていきたいと思います。	D:参考	
177	22~23	ボランティアに興味があるので、できることがあったらやってみたいです。	D:参考	・市民参加を推進していくためにも、皆様のご協力をお願いいたします。 ・詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
178	22~23	今後レセプションистとして活動したいと思う。今までのレセ活動を通して、舞台を見にこられたお客様のケアをするレセプションистは、素敵な仕事だと感じました。	D:参考	
179	22~23	完成後は一般市民の足が自然と「センター」に向かう様な魅力を備えた施設、運営をみんなで支えたいと思います。	D:参考	
180	22~23	企画・運営・評価に係る項について7つの事業との関わり方において整理していただくと分かりやすいです。	D:参考	・ご意見として、参考にさせていただきます。

### (3) 市民参加組織のあり方

No.	関連ページ	意見	市の考え方	
181	24	個々人を集めて組織ができるか疑問である。この計画に携わった市民と現在の文化団体や市民会館利用者を集めて組織を結成してはどうか。	C:検討	・詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
182	24	組織のあり方は、市民の「興味関心、得意分野、持続的、自主的、長期短期、結びつき」が要件と解されます。これらの基本的な要件を満たす組織とは、どのような組織かを提示していただけたらと思います。	C:検討	
183	24	参考として営利法人・非営利法人・任意団体・実行委員会があげられていますが、専門委員会などの知見によって最適な形態が、事業の基本方針と上記の要件に照らした比較も含め提案されていたらと思いました。	C:検討	

(4) 市民参加を促す取組

No.	関連ページ	意見	市の考え方	
184	24	3項目があげてありますが、この項は市の姿勢を示すものとして重要と考えます。	A:盛込済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理運営基本計画（案）が実現できるよう、着実に進めていきます。</li> <li>・詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。</li> </ul>
185	24	小田原市だけのものではないが、まずは小田原市民が誇れる、愛着をもてる施設であって欲しい、そのため多様な市民が様々な力量で関われる場を設定して頂きたい。	A:盛込済	
186	24	ちょっとした時間で初心者でもできるボランティアがあるといいと思います。（子育てしている人や仕事をもっている人でもできるように）	D:参考	
187	25	【イメージ】図は、他の図のように唐突に最後の部分におかれています。これは、本文を加筆して冒頭の(1)考え方の項で述べる方がよいと考えます。また、イメージではなく計画とすべきではないでしょうか。	E:困難	

5. 収支

(1) 収支の考え方

No.	関連ページ	意見	市の考え方	
188	26～27	管理運営計画（案）の見出し1.～4.及び6.については賛同するが、「5.収支」の部分があまりに不明確すぎる。	C:検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。</li> </ul>
189	26	公共ホールの採算性は、通常の運営では、「黒」になることは先ずないでしょう。自治体からの補充が絶対に必要です。市の文化予算の増額を織り込んで頂きたい。	C:検討	
190	26	市民参加を単に行政の下請けや経費節減としないためにも、市民の技術や労力には有償で報いられるような仕組みを提案してください。	C:検討	
191	26	芸術文化活動にお金がかかることは承知しています。ただし、市予算が湯水のようにあるわけではないと思うので、P26収支において、外部資金調達によって自己財源比率を高める努力とありますが、努力ではなく、自己財源確保の方策を採っていただき、比率を高めていただきたい。	B:反映	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見の趣旨を踏まえ、管理運営基本計画（案）を修正しました。</li> <li>・詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。</li> </ul>
192	26	参考例としてあげている運営状況のような収支を前提とするならば、計画の実施そのものが疑問である。当該施設の公共性を踏まえ建設費を市が負担することは可としても、管理運営経費の大半を市が負担するような収支計画はおかしいのではないか。文化を育むことは大切だが、比率で言えば、文化に関心がない人、センターを建設しても利用しない人の方が圧倒的に多数派なのではないか。これらのことを考えると、少なくとも収支のうち、事業費は事業収入で、維持管理費は使用料収入で全額賄う、つまり直接的な受益者の（たとえ高額になっても）全額負担として欲しい。この負担が困難なら負担可能な水準まで施設の規模、レベルを下げれば済むことであり、この部分に無関係な市民を巻き込んで安易に税金投入を行うことは厳に慎むべき。	D:参考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見として、参考にさせていただきます。</li> </ul>

193	26	P26収支の考え方に、「小田原市が一定の経費を予算化していく必要があります。」とあり、P30資料には、施設Aの例で、自治体からの収入がなんと4億5千万とある。どのくらいの規模の自治体かわからないが、500億円規模の財政状況の小田原市が、新たに毎年こんなに多額の費用を負担するなどんでもないことである。	D:参考	同上
194	26	アウトソーシングなど支出を抑えるとともに、営業収入を得るだけでなく、愛好者からの寄付を募るなど、できる限りの工夫を行い、小田原市からの支出を少なくすべきである。	D:参考	
195	26	多額の費用をかけて造られるホールが使われなければ意味がないが、だからと言って、事業費やランニングコストに現在より何倍もの予算を費やしてよいわけではない。ほとんどの市民は何年かに一度行くかどうかの施設である。運営費にはできる限り、市の予算を使わないよう努力してほしい。	D:参考	
196	26	文化ホールができてまた芸能人が来るようになればうれしいが、何年かに一回しか利用しないだろう。できるだけ市民負担のないよう運営して欲しい。	D:参考	

(2) 収入

No.	関連ページ	意見		市の考え方
197	26	使用料設定や自主文化事業の実施に当たっては、受益者負担の原則の徹底を図るべきである。	D:参考	・詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
198	26	収入は市の予算に頼るのでなく、協賛金やスポンサーなどの獲得など営業努力をすべきである。	D:参考	
199	26	運営費の内、自治体の負担がどの位かを明確にする富士市では25%を営業努力で、75%を企業等からの寄付で賄っているようだ。	D:参考	
200	26	管理経費に見合った利用料金の設定をすべきである。	D:参考	
201	26	市の援助等を受けている文化団体としての行事が多く、開催日程等の短縮等を図り、また、会館使用料の有料化を行い、維持費の予算に赤字が生じないように推し進めてゆくべきではないか。	D:参考	
202	26	厳しい財政状況の中で多額の予算を使うことは避けるべきであり、収支がどんぶり勘定にならないよう、使用料の減免制度は取らず、費用の明確化を図るべきである。	D:参考	
203	26	指定管理者制度を導入するのであれば、指定管理者の安定的な収入を確保する上で、減免制度は導入しない(いかなる事業内容でも規定料金を徴収する)方が良いと考えます。	D:参考	
204	26	相応の事業費を確保するうえでも経常的な収入を確保することが必要となります。その大きな柱でもある使用料収入については、減免規定などを安易に設けることは、公明さを担保する意味からも厳に控えるべきと考えます。	D:参考	
205	26	団体や学校等の利用回数や減免を見直さないと収入も増えていかないと思う。	D:参考	

(3) 支出

No.	関連ページ	意見	市の考え方	
206	26～27	維持管理費「中長期的な視点により、修繕費や改修費を試算」の際には、大規模改修（リニューアル）も含めた検討をしていただきたい。	A:盛込済	・詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
207	26～27	将来、維持管理（特に修繕費）については、増加することが考えられます。修繕費については、芸術文化創造センターが開館と同時に、将来を見据えた修繕基金の積みたてが可能か、また収入の一部をそのような目的に使用するのが可能か今後検討していただき、未永く市民に利用される施設となることを期待します。	C:検討	
208	26～27	「財政的背景」全てを満足させるための規模が、小田原市の適正な財政的背景を超えた場合には、その維持を含め将来的にお荷物になる可能性が有る。イベントへの補助費用や維持費を含めたライフサイクルアセスメントの視点で適正規模を算定する必要がある。	C:検討	
209	26～27	新しい建物ができたら、定期的に点検や修繕ができる様な予算を見て行くのは、とても良い事だと思う。	D:参考	

6. その他

(1) 開館準備業務推進体制

No.	関連ページ	意見	市の考え方	
210	28	財政難の折、コストを抑えることも必要だが、建物の構造や設備はしっかりと吟味し、永く使えるものとしてほしい。	A:盛込済	・管理運営基本計画（案）が実現できるよう、着実に進めていきます。 ・詳細については、今後の基本設計及び実施設計において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
211	28	ランニングコストをおさえるために循環型エコ設計による持続性のある施設にすること。	C:検討	
212	28	イニシャルコスト及びランニングコストについて 本件のコスト低減の基本はすべて「シンプル化」にあります。	C:検討	

(2) 整備スケジュール

No.	関連ページ	意見	市の考え方	
213	29	この方向性でいいと思いますので、スケジュールどおりすすめて下さい。	A:盛込済	・平成28年度の完成を目指し、着実に進めていきます。
214	29	今後、実施計画が策定されるとのことなので、市民として注視していきたい。	D:参考	
215	29	このまま進めてもらいたい。	A:盛込済	
216	29	運営組織を1年前倒しすべき。（H25運営方法検討、H26～28運営組織立ち上げ、活動開始。）直営で、市がリーダーシップを発揮するならばともかく、指定管理者とした場合の、市民参加組織とのインターフェイスが小田原評定となって進まないのが目に見えているため。	C:検討	・詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
217	29	今後のスケジュールでは平成25年度に2回目の基本計画（案）をされるようですが、例えばA、B、C案と云った表現にしないと巾が広過ぎて、判断ができないと思う。	C:検討	

(3) 施設完成後の準備期間における留意事項

(意見なし)

芸術文化創造センター管理運営基本計画全般について

No.	関連ページ	意見	市の考え方	
218	-	今回の基本計画(案)では、考え方をいろいろ述べているのみで、(案)としての具体性が欠けているように思われる。	D:参考	<p>・管理運営基本計画(案)は、芸術文化創造センターの管理運営体制を構築していくために、事業、運営及び市民参加のあり方等について基本的な指針を定めるものです。</p> <p>・詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。</p>
219	-	「望まれます」との表現が散見されるが、基本計画の表現としてはふさわしくないように思われる。	D:参考	
220	-	全般に、「可能性があります・検討していきます・望まれます・求められます・こともあります」のような言葉が散見され、計画書というより提案書のような論調という印象を受けました。いっぽう、「行います・育てます・創ります」など実行することを明言した文言もあります。結びの違いに意味があるのでしょうか。市民委員会と専門委員会で1年をかけて討議してきた結果の集積として、項目一つひとつを実行の意思を持つ計画として読み取れるよう「実行する」などで結んでいただくと、安心して次の段階に進めるでしょう。	D:参考	
221	-	全体に「様々な」「多様な」「誰もが」「気軽に」などの言葉が繰り返し多用されています。確かに、これらの表現を取らざるを得ないとは思いますが、例示をするなど具体的な言葉を補っていただくと意図がはっきりします。	D:参考	
222	-	音楽・公演系および美術・展示系の事業や運営についても、イベント、ワークショップ、コンサート、ミュージカル、フェスティバル(すべてカタカナはやむを得ないとして)など、一般的な単語が繰り返されていて、論調の核心に迫り難いところがあります。	D:参考	
223	-	計画案は表紙にあるように小田原市が施策として実行するものであり(主語は市)、市民あるいは市民団体はこの施策による約束を受けて主体的に行動するということになります。あいまいな文の結びが多いといいましたが、この計画書は、市の市民に対する約束であり、市の意思をもっと明確に示していただけたらと思います。	D:参考	
224	-	これまでの繰り返しのような表現でなく、具体的で力強い覚悟の言葉をいただきたいと思えます。	D:参考	
225	-	大きな枠組みを固定化せずに、ダイナミックに変化できるようにしかけておいてもらいたいと思います。計画案で設定した様々な組織形態などは、時代とともに大きく変化していく筈のものです。スタートラインの仮説としての計画案として良く練られています。進化する社会形態にまで想いが届いていない気がします。市民参加の事例も近い将来、さらに進化するものと考えます。できれば、次のような一項を加えておいて頂きたいと想います。 「専門分野の分担や組織形態などは、今後の市民社会の発展とともに、大きく変化し、進化していくものと思われ、それに対応できるように、より市民参加が高度なものとなっていくように、適時に議論し、見直ししていくものとする。」	D:参考	
226	-	現状の市民会館と比べてどう変わるのか、何が良くなるのか、またその逆など、メリットデメリットを一覧で見れるものがあると良いと思います。	D:参考	

227	-	管理運営計画(案)とありますが、管理として記述してある部分がありません。運営の項に記述されている項目をいずれかが管理として分割できるか、あるいは管理としてさらに追加する項があるか検討の要があると思います。管理と運営が不可分なら、当初に管理運営とした通りに一貫すべきですし、運営のみあげたのならその理由を(案)において断っておく必要があります。	D:参考	・今年度は管理運営基本計画を策定することとしており、この計画は、事業、運営及び市民参加の3つについて検討し、取りまとめたものです。管理体制については、今後の管理運営実施計画等において検討していきます。
228	-	文字表記が多いので、もう少し絵図を増やした方が読みやすいのではないかと。	C:検討	・管理運営基本計画(案)においては、芸術文化創造センターで実施する事業や市民による活動の内容に対するイメージを固定化してしまうような画像や挿絵の使用は避け、イメージ図の掲載にとどめています。 ・詳細については、今後の管理運営実施計画等において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
229	-	横文字の言い換えが多いので、もう少し言い換えなしの日本語表記にした方が良い。	D:参考	・できる限り分かりやすい用語での表記に努めていますが、市民委員会及び専門委員会での議論や発言について、その意図を適切に表現するためにカタカナ表記や専門的な用語を使用している箇所があります。
230	-	基本的な重要事項が整理された良い案と思います	D:参考	・管理運営基本計画(案)が実現できるよう、着実に進めていきます。
231	-	よく練られており、判り易くまとまっていると思います。	D:参考	
232	-	基本的な考え方、事業の考え方にあるような、格調高い理念に委員・職員諸氏の強い思いが読み取れ、小田原独自の計画が出来たと感じます。	D:参考	
233	-	多くの時間と手間をかけ、この管理基本計画(案)に至った関係者の方々、本当にご苦労様でした。7つの事業の基本方針及びそれを支える上位計画、更には実施する事業の方向性についても、大変分かりやすく整理されていると思います。	D:参考	
234	-	音楽や美術など、芸術は国や文化の境界を越えた交流が出来る手段の一つであると思います。この計画案を拝見したところ、その点を活かしながら多くの市民を巻き込み、より良いまちづくりに寄与できる施設となることに期待が持てました。	D:参考	
235	-	「読んでいてワクワクする計画」というのが、第一印象です。ですが、それ故に、「絵に描いた餅」とならないかを心配しています。	D:参考	
236	-	強いてコメントさせていただく点があるとすれば、全てを満足させるために、かえって実現性が失われるのではないかとこの点です。その為にどの様に絞り込むのか、あるいは規模を活かせるための取り組みはどうするかを考えなければならないと思います。	D:参考	
237	-	ぶれない、偏らない、公平な運営方針今一度考査頂きたくお願いいたします。	D:参考	
238	-	運営主体如何でなんととも言えない部分が多いが、夢を持ってすすめて頂きたい。	D:参考	

239	-	運営は若い世代の市民の方々が、どの位のエネルギーを持っていらっしゃるか、小田原の町がどのようなあり方をするかに大きく左右されると思っています。	D:参考	
240	-	「芸術文化創造センター」が一般市民をどれだけ取り込めるかは、運営にかかっています。具体的には、運営スタッフの人選、運営内容、企画立案の事業内容と金銭面での収支です。	A:盛込済	
241	-	小田原市は小田原市の施設（マロニエ、けやき、いずみなど）が充実しており「集会室」も利用しやすいです。夏休みは子ども向けの講座もあって有り難い、と感じています。そういう点から考えると、今回のホールは「芸術文化創造センター」と名称を改めるところを考えても、もう一歩ランクアップして運営を行っていく必要があるだろうと思います。	D:参考	
242	-	小田原市民と近郷の人々を含めての運営が重要です。	D:参考	同上
243	-	芸術文化創造センターを利用する人々は、その交通の利便性から小田原市民に限るわけではない。	D:参考	
244	-	当然小田原で行われるものだけが芸術文化創造に値するものではなく、近隣で行われるイベントも、芸術文化創造に値する。	D:参考	
245	-	計画案を読ませていただき、芸術・文化関連のイベントや事業に接する機会が少ない私でも、平成28年度の完成がとても楽しみになりました。これからもいろいろとご苦労されることと思いますが、ぜひ開館を目指して頑張ってください。	D:参考	
246	-	これに沿った素晴らしい芸術文化創造センターが出来ることを願ってやみません。	D:参考	
247	-	「3.運営」は、市民参加による運営が柱となり、「3.」と「4.」を入れ替えられませんか。	E:困難	・市民参加は、事業及び運営の双方に関わるものと考え、この順序としています。
248	-	この計画案全体を通して、計画が対象とする「利用者の範囲」の表現が曖昧な感じがします。例としてP4最下段の本文中、「市民誰もが参加しやすい事業を実施」「誰にでも利用しやすい施設運営」「すべての市民が社会と交流し」のように、「市民」「誰もが」「誰にでも」「すべての市民」「社会と」など範囲の異なる主語や対象がまぜこぜに使われているため、いったい計画が誰に対するものなのか、曖昧でよくわかりません。「市民」とは？小田原市民だけなのか？小田原に仕事や学校で通う人も「市民」と呼ぶのか？「人々」「社会」とは？小田原市外在住者で芸術文化創造センターに行く人、使う人は「市民」なのか？最初の「位置づけ」のところで、きちんとこの計画における「市民とは」の定義付けをして、本文中の書きぶりを統一する方が良いのではないのでしょうか？	D:参考	・管理運営基本計画（案）において、市民とは、一義的には市内在住・在勤・在学者及び市内で文化活動等を行う個人・団体を想定していますが、これに限定せず多くの人に関わっていただきたいため、特に定義は行わず、その箇所ごとに意図を適切に表現すると考えられる言葉を使用しています。
249	-	個々の企画・計画細目について、具体的な市内組織や人名、日時、場所、費用、などが入った企画書として具現化していく必要がありますが、その時点で行き詰まらないように、早期に細目事項への接続が必要です。計画書にもとづき、そのような具体化する実行案をつくり、関係者とともに順次実現していただきたいと思います。そのため、次のような一項を加えて頂ければと思います。 「本計画が、早期に具体的に実現していくために、計画の細目について、どのような具体的な企画・行動がなされるか、具体案を継続的に市民に対して提示していくように努める。」	B:反映	・ご意見の趣旨を踏まえ、管理運営基本計画（案）を修正し、「6.(4)具体的な運営方法の検討に向けて」を追加しました。

250	-	一般意見募集の結果と市の見解も公表していただけると参考になります。	B:反映	・パブリックコメントとして提出いただいたご意見は、それに対する回答とあわせて公表します。
251	-	小田原ちょうちんのように伸縮自在の機能性を持たせること。	D:参考	・ご意見として、参考にさせていただきます。
252	-	この計画が公共の施策である限りは、公平性と完璧性は厳密に要求されるものであり、過程の位置である運営計画にも、すべての市民が納得のいく説明と論理は必要と思います。	D:参考	
253	-	音楽関係の単語や表現はしばしば例示されますが、美術系への言及が少ないように思われます。	D:参考	

## その他

### 文化政策、その他市の施策に関することなど

No.	関連ページ	意見	市の考え方	
254	-	博物館などが必要であれば、この中に機能を盛り込むなどすれば良い。	E:困難	・芸術文化創造の拠点として整備するものであり、市民ホール基本計画において、その施設機能として「大ホール系機能」、「小ホール系機能」、「展示系機能」、「創造系・支援系機能」、「交流系機能」、「管理系機能、その他」を計画することとしています。
255	-	天守閣の木造化再建や博物館・美術館建設構想があると聞くと、これ以上のハコモノ建設は反対である。	D:参考	・ご意見として、参考にさせていただきます。
256	-	人口減少時代になり、耕作放棄地や空き家・空き地が年々増えている。新たにハコモノをつくる「何をつくるか」ではなく、既存の施設を維持管理し「どう使うか」マネジメントしていく時代が始まっている。芸術文化創造センターを最後のハコモノ建設にするよう強く望む。	D:参考	
257	-	この件と直接関係ないかも知れませんが、観光バスの駐車スペースが小さいと聞きます。観光を重視する上で、市民ホールと関連して考えがあるのでしょうか。	F:その他	・観光バスの駐車場については、利便性の向上に向けて別途検討していきます。

### 芸術文化創造センター整備全般について

No.	関連ページ	意見	市の考え方	
258	-	市民会館建替計画の頃から動向を見て参りましたが、新しい構想が出来ては消え、ようやくここまでたどり着いたと感じます。	D:参考	・平成28年度の完成を目指し、着実に進めていきます。
259	-	現計画の続行を掲げる市長が再選されたことにより、芸術文化創造センター建設は民意であると捉えております。	D:参考	
260	-	芸術文化創造センターの開館を心待ちにしております。	D:参考	
261	-	新しいホール楽しみです！	D:参考	
262	-	芸術文化創造センターのオープンを楽しみに待っています。	D:参考	
263	-	夫婦ともにとても関心がある。	D:参考	



264	-	歴史情緒ある小田原ならではの文化センターができるといいですね。この建設計画を応援いたします。	D:参考	同上	
265	-	反対意見も根強いようですが、十分な検討が行われたことと思いますので、こけら落としの日を楽しみに、このまま進めていただきたいと思います。	D:参考		
266	-	小田原市芸術文化創造センター計画は、その設立当初から構想から計画を経て運営まで市民参画という思想を貫いているものとして、それが実は劇場音楽堂であってギャラリーは付帯的なものという事実があったとしても、諸手をあげて賛成するものです。	D:参考		
267	-	城下町ホールの計画を破棄し、ここまで議論を積み上げてこられた担当課のご苦労は相当のものと思われま。開設に向けてまだまだ難問難題があるかと存じますが、市民や専門家と知恵を出し合いご努力頂きたい。	D:参考		
268	-	この芸術文化創造センターが、20万市民の誇りとなる事を願って止みません。	D:参考		
269	-	皆様が誇りに思えるホールの完成、子どもたちとも一緒にワクワクして待ちたいと思います。	D:参考		
270	-	大変だと思いますが、市民が自慢できるセンターになることを願います。	D:参考		
271	-	新市民ホールの建設を願っているのは誰か 本来、新しいホールができる事を一番期待し願うはずの既存の文化団体が、いまいち反応が鈍い。そこで提案ですが、一度市登録団体の代表をいくつかのグループに分け、本意を確認することを提案します。	D:参考		・ご意見として、参考にさせていただきます。
272	-	現在、文化芸術に関係している登録団体で、「ホール建設基本理念」に賛同する団体はあるやなしの確認を提案します。	D:参考		
273	-	バカにするな！俺達がいる！と立ち上がる若人が出現してくれる事 願ってやみません。	D:参考		
274	-	是非、各団体・連盟の「将来施設を使う次世代の人達」との意見交換会を呼びかけてください。現在の各団体・連盟の代表者は、過去それなりの実績・功績を残された方々とは存じますが、将来半世紀にかけて、新しい文化施設を実際使用するの、若い彼等です。	D:参考		
275	-	芸術文化創造の拠点づくりプロジェクトには大いに賛同するものであり、1市民としてあるいはグループを通じて小田原の市民文化創造には参加していきたい、そのため、なんらかの確信をもって進みたいと思っています。	D:参考	・市民参加を推進していくためにも、皆様のご協力をお願いいたします。	

市民ホール管理運営計画市民委員会及び専門委員会について

No.	関連ページ	意見	市の考え方	
276	-	市民代表の皆さまが十分に議論し、この計画を創り上げたことに敬意を表します。	D:参考	
277	-	お集まりになった皆様方が小田原の未来のことを本当に深く考えていらっしやって、全ての意見が面白く、とても有意義な会に参加させていただきました。心から感謝しております。	D:参考	・多くの方の尽力によって取りまとめられた管理運営基本計画(案)が実現できるよう、着実に進めていきます。
278	-	少ない関わりの中で感じましたのは、新しい市民センターを文化発信の地として、そして集いの場所として盛り上げていきたいという方々がこんなにも沢山いてくださる素晴らしさです。これなら、いいものが小田原に出来上がること間違いなしと、期待でいっぱいです。	D:参考	

279	-	参加した皆さまが、新しい市民ホールが出来上がるまでの過程の一部に関わったことで、情報発信の強力な助っ人たちが市内のあちこちにいる嬉しい状況の中、参加した方とその周りには数え切れない方々が、自分の思いの一部が詰まったホールとしての完成を心待ちしているのは本当に嬉しいですね。	D:参考	同上	
280	-	よくまとまった内容となっています。市民検討委員会の回数を重ねて討論した結果ではないでしょうか。	D:参考		
281	-	市民に寄り添うような桑谷さんのご発言が素晴らしい。	D:参考		
282	-	多角的に検討されている事は評価します。	D:参考		
283	-	鋭意策定された文化振興ビジョンのもと、市民ホール基本構想と基本計画を経て、芸術文化センター管理運営計画の策定となるまで、市民をはじめ専門家の方々の貴重な意見が集積されかつ集約されてきたと思います。	D:参考		
284	-	長年に亘って勉強し、議論を重ねてきた市民の皆様と委員の皆様の意向が生かされた計画案だと思います。	D:参考		
285	-	市民委員会は、委員長に相当する立場はありませんが、文化政策課かあるいは課内におかれた委員会事務局かまたは進行（ファシリテート）をされた空間創造研究所か、市民委員会の討議結果を代表できるお立場は何処にあるのでしょうか。	F:その他		・市民委員会の代表者は定めておりません。 ・市民委員会の意見は、「市民ホールかわら版」や「意見集」として取りまとめ、専門委員会での議論を踏まえて管理運営基本計画（案）に反映されています。
286	-	専門委員会および市民委員会の討議経過をまとめて、本文にあるいは資料として加えたらいかがでしょうか。23年度の基本計画策定時の市民委員会のようにとりまとめ、主要な意見についてはどのように計画案に反映したか（しなかったか）を明確に記述していただくと、とくに市民委員会に参加した意義がよく理解できると思います。	B:反映		・検討の経過を取りまとめた「管理運営基本計画 資料編」を作成する予定です。
287	-	検討委員会のメンバーを見ても、若い人は少なく、誰かがやってくれるのを待っている様で、手応えを感じない。自分たちで始める、知恵を使う、汗をかく、意欲・気迫を感じる機会がない。それでいて要求はしてくる。...何かを忘れて来た人達に感じる。...原点思考でスタートするしかないと感じます。	D:参考		・ご意見として、参考にさせていただきます。
288	-	次年度は、事業と運営について分離した形で、それぞれ具体的な実行計画を策定する（検討課題を持ちこさない）組織を設けて精緻化することを提案いたします。構想から運営計画まで3年次にわたり専門委員会や市民委員会および市民意見などで収集された情報や課題はすでに相当数集積されていると思います。開館まで検討事項のまま残り、最後に安易な結論に落ち着いてしまうことを懸念致します。	D:参考		
289	-	委員の諸先生方は、都会で成功を収めた実績のある方々とお見受けいたします。よってその実績のイメージに本市をはめ込んでのお考えは、役に立つ内容も多くあるとは存じますが、決して全てではない事にもご配慮くださる事お願いいたします。	D:参考		
290	-	計画ができたら終わりではなく、委員会の先生方には、これからも関わっていただきたい。	D:参考		

設計・設備・備品等について

No.	関連ページ	意見	市の考え方	
291	-	業者を近いうちに選定するとありますが、仕様が明示されていない(建物等)平成24年4月に市民ホール基本計画が回覧されましたが、これが仕様なのでしょうか。	F:その他	<p>・芸術文化創造の拠点として整備するものであり、市民ホール基本計画において、施設機能として「大ホール系機能」、「小ホール系機能」、「展示系機能」、「創造系・支援系機能」、「交流系機能」、「管理系機能、その他」を計画することとしています。</p> <p>・詳細については、今後の基本設計及び実施設計において、ご意見も踏まえながら検討していきます。</p> <p>・市民ホール基本計画における施設計画の基本的な考え方の一つとして、景観に配慮することとしています。</p> <p>・詳細については、今後の基本設計及び実施設計において、ご意見も踏まえながら検討していきます。</p> <p>・市民ホール基本計画において、大ホールの客席は1,200席程度、多層バルコニー席を備え、1階席のみの利用も想定しています。</p> <p>・市民ホール基本計画において、練習やリハーサルなどが行える室として大・中・小スタジオを計画することとしています。</p>
292	-	結婚式場やカルチャー施設も設置してほしい	E:困難	
293	-	子供向けのコンサートや文化祭をやってもらえるようですが、子供が小田原の歴史や文化を学べる博物館のような部屋もつくってほしいです。(小田原ちょうちんとか寄木とか昔の小田原の写真とかを飾る)	E:困難	
294	-	小田原城下町(小田原宿)のふんいきをかもしだすように周囲との調和をはかる。	C:検討	
295	-	小田原城址から見た景観に配慮すること。	C:検討	
296	-	「学橋」に続いていく、緑に馴染む建物ができればよいなあ、と思います。	C:検討	
297	-	「30メートルセットバック」が採用され、現施設の設計が進められている場合は、問題を引き起こします。理由...敷地確保のため地権者の方々に移転をお願いしている理由は「小田原市の文化・芸術の創造拠点他」等のため。先祖代々住み慣れ、時には守ってきた土地を手放し他に移る。これは一重に「将来の市民のため」等々の大義を考えての決断。結果30メートルもセットバックして“広場!”「これでは何のために我々は移転に協力したのか!」の声が出て不思議ではありません。御協力頂いた方々が協力してよかったと納得して頂ける結果となるよう願っております。又本件は30メートルセットバックのため、施設全体を少しずつ縮小した内容になった...のような結果になった場合も、前述の地権者だけではなく、検討委員会で協力した委員も納得しない状況を生じる事にもなりかねません。広場用敷地には市民も地権者も十分に納得できる内容となるようご検討をお願い致します。 三の丸小学校は歩道淵に小川と漆喰塀があり、ほんの数メートルを経て校舎があります。馬出門の前に、壁ができるは詭弁、知恵使えば、三の丸小の様に違和感なく収まる建物もあります。	C:検討	
298	-	私達はまだホールの建築について、特に用地の確定に意識を向けておくべき時、道路から30mさがるべきという訳のわからない話が建物にどう影響するか、不安に感じているまます。	C:検討	
299	-	小田原用水を延長し水の緑道を作る。	C:検討	
300	-	今と同じ様な席数では有名な人が来ない可能性があると思う。	D:参考	
301	-	「大ホール」規模を求めるのではなく、あくまで質(良質の響きと充実したバックヤード)を求める。内容によっては満席になるものの、それが何年振りかという現実から、そこに基準を置くことは無理があると考えざるを得ない。小中学生の集まりを相当の規模で行わない限りは、今の市民ホールの座席数は必要がないと推察される。例えば2階席は通常使わないことを前提に設計し、どうしても規模を求める場合にのみ使用するという発想が必要。	D:参考	
302	-	リハーサル室がほしい	D:参考	

303	-	楽屋の数を増やす（ひと部屋の収容人数も多く）	D:参考	・市民ホール基本計画において、十分な設備を備えた大・中・小楽屋を不足のないように計画することとしています。
304	-	さまざまなイベントが行われると車で訪れる方が多いと思われる。駐車場設備はあるのか。ある場合、その想定台数は何台か。	F:その他	・市民ホール基本計画において、計画敷地内には業務を行う上で必要な台数分（40～50台程度）を確保し、その他については、周辺の駐車施設の利用を基本としています。 ・詳細については、今後の基本設計及び実施設計において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
305	-	（今の市民会館の問題点）駐車場が少ない。市民会館前の狭い一方通行の道路で路駐をしている人がいる。	D:参考	・詳細については、今後の基本設計及び実施設計において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
306	-	舞台機構 演劇には、多かれ少なかれ舞台転換が必要不可欠です。われわれを含めたアマチュア劇団では、転換スタッフが量的にも質的にも不足しています。そのため、舞台転換をできるだけスムーズに進められる機構が、ぜひとも必要です。一例として、 回り舞台 スライド式の床 セリ 屋台（会館備品）	C:検討	・詳細については、今後の基本設計及び実施設計、備品計画において、ご意見も踏まえながら検討していきます。
307	-	必要な設備 プロセニウム 緞帳 暗転幕 吊り物用バトン	C:検討	
308	-	現市民会館大ホールの欠陥（今さら、指摘するような事項ではないと思いますが）を修正できれば、充分と考えます。 搬入口 舞台袖の広さ 楽屋の広さ、数、位置 リハーサル室 斜めの袖幕 シーリングライトの位置 サスペンションライトの位置	C:検討	
309	-	（今の市民会館の問題点）大ホールロビーで空調が効かない。収容人数に比べ、トイレが少ない。開場を待てるようなスペースがほとんどない。	C:検討	
310	-	地場の木材をなるべくできる範囲で利用してもらいたい。	C:検討	
311	-	搬入口と舞台はフラットに、また間口も広く（いまはエレベーターを使っているので手間も時間もかかっている）	C:検討	
312	-	緞帳の高さをもっと高く（舞台の見栄えがよくなります）	C:検討	
313	-	両サイドの舞台袖を広く	C:検討	
314	-	電力をもっと使えるように（照明が電力不足で希望する明かりが出せない）	C:検討	
315	-	音響設備の充実	C:検討	
316	-	リノリウム常備	C:検討	
317	-	子連れでも楽しめるように親子室を（部屋の中の音が外にもれず舞台の音はスピーカーで入る）	C:検討	
318	-	ロビーを広く	C:検討	
319	-	ロビーから客席に入る扉を2重扉に（外の明かり・音がはいらないように いまは1枚扉と黒のカーテンです 厚みは倉庫、親子室に使えます）	C:検討	
320	-	楽屋にモニターをつける（舞台の進行状況がわかるように、今はスピーカーのみです）	C:検討	

321	-	楽屋トイレの数を増やす	C:検討	同上
322	-	小田原市には、人形浄瑠璃公演に配慮したホールはない。現在、下中座は生涯学習センターけやきのホールで公演を行っているが、人形浄瑠璃公演には不具合も多い。厚木市のように莫大な費用をかけて人形浄瑠璃専用の舞台を作してほしいと言わない。人形浄瑠璃公演に必要な最低限の設備の設置をお願いしたい。	C:検討	
323	-	船底を切らなくて良いので、二重を組むのに十分なだけの数の箱馬と平台を用意してほしい(これは他の団体の公演にも活用できるものである)。	C:検討	
324	-	文楽廻しの設置は望まないが、太夫床設置に必要な場所を確保してほしい。	C:検討	
325	-	世話屋台・時代屋台・囲い・背景幕など、人形サミットなどの全国規模の大会にも対応できるだけの大道具は、下中座が保有している。その大道具がしっかり使えるだけの舞台の広さを確保してほしい。最低でも間口6間・奥行5間は必要である。いまのけやきでは間口が狭くて6間間口の時代屋台が有効に使えない。	C:検討	
326	-	場面転換のために舞台袖・奥を広く取ってほしい。いまのけやきでは、屋台を引くために大変苦労している。	C:検討	
327	-	雪籠を吊ったり、時代屋台を吊ったり、背景幕を吊ったりとパトンの数は最低6本は必要。振り落としのパトンも不可欠。	C:検討	
328	-	文字幕はサスペンションライトと共吊りでないものを考えてほしい。	C:検討	
329	-	舞台の高さは高すぎないこと。2尺8寸の手すりがつくので高すぎると前の方の席が見にくい。	C:検討	
330	-	観客席は階段状にしてもよいが、その段差は低いこと。手すりの陰の姿見の姿が丸見えとなって見苦しい。	C:検討	
331	-	のびのびと演じられる舞台空間の創設を願ってやまない。	D:参考	
332	-	神奈川芸術劇場の「床：温風 天井：冷風」方式が優れています。冷・温水利用は地震等での配管修復が困難のため。冷・温風はよほどの亀裂でない限り修復不要。又配線・配管はメイン通路(ダクト)方式とし、電気系は天井配線、水系は床配管になりますが、これが一番の問題で、問題発生時(漏れ)に修復しやすい設計となっているか、特に注意して審査して頂きたい。	C:検討	
333	-	ガラス張りによる、採光は省エネと思いがちですが、展示・ホールの場合、外光を遮断し、作品(上演)に最も相応しい照明はいかにあるべきかに関係者は知恵を結集する。従って会場へのアプローチに太陽光を目いっぱい取り入れるガラス張りは避けるべきと考えます。特にホールの場合、会場入り口ドアの外光遮断を二重三重にする必要が生じ、明るすぎる設計は要注意と存じます。	C:検討	
334	-	「大ホール」バックヤードはステージ以上に使い勝手を踏まえて充実したものにします。	C:検討	
335	-	「小ホール」規模ではなく質を求める。小ホールの規模で行うことが出来るイベントは多く、やはり響きと充実したバックヤードを持つ必要がある。使用料設定とも関係するが、特に市民の発表の場等で、現実的には一番多く使われるであろうことを念頭に置く。	C:検討	

336	-	「スタジオ」張り替え可能な床など、相当ラフな使用に耐える設計で、演劇等には最も使いやすい場とする。	C:検討	同上	
337	-	「ギャラリー」展示系機能は、箱根を除けば近隣に美術館はあまりなく充実させる価値がある。あくまでも質を求め、規模は追わない。	C:検討		
338	-	市民ホールを利用する様々な（オペラ、ミュージカル、歌舞伎、オーケストラ等）一流のプロの方たちに集ってもらい、ホールの設計の検証をしてもらいたい。	D:参考		・ご意見として、参考にさせていただきます。
339	-	設計家は自分の結果を誇示・残すことに神経を取られ、“誰が何のために建て、どのように使うのか”の本来目的が希薄になり、外観（デザイン）に集中する設計が結果として多い現実。…高価な設計費を費やしても中止した「城下町ホール」の経験が生かされるよう、選考委員の方々にはお願いしたい。	D:参考		
340	-	第一次審査通過者一覧を拝見したところ、著名な方が多く大変驚きました。どんな方が設計しても、印象に残る建物だとそれだけで人が集まります。小田原は箱根への国内外の観光客も多いので、小田原が通過点ではなく降り立ってくれる場のキッカゲになれば、と思いました。	D:参考		
341	-	基本設計段階での設計者との話し合いについて、少々不安を感じます。劇場構造というのは、管理する側と劇場を使用する側では、大きく違います。劇場を使用するエキスパートは、舞台監督です。それぞれのエキスパートは、こだわり方が違います。それを調整するのが、舞台監督の仕事です。それぞれの要望を調整してトータルバランスを考えるのが舞台監督の仕事です。基本設計段階で、舞台監督のエキスパートをスタッフの一員に加えていただけることを、お願いします。	D:参考		

広報・周知について

No.	関連ページ	意見		市の考え方
342	-	市民委員会の取り組みもあるようですし、そのようなメンバーをもっと増やしていくためにも、多くの人が芸術文化創造センターの取り組みを知ることができるようにしていただきたいです。	C:検討	・管理運営基本計画の検討経過については、専門委員会及び市民委員会の公開、議事録及びかわら版（市民委員会開催記録）の発行、パブリックコメントの実施、広報やホームページへの掲載などにより情報提供を行ってまいりましたが、今後も周知に努めていきたいと考えております。
343	-	ホームページの情報が早いので助かっていますが、これからの宣伝にはブログとかフェイスブックなど利用されても良いかもしれません	D:参考	
344	-	私も口コミ、SNSなど、他県の友人にPRしていきたいです。	D:参考	